

Photoshop アルバム編集マニュアル

当社ではご希望のお客さまにレイアウトデータ（以下プレゼンデータ）を提供しております。

当社プレゼンデータはすでに矩形やタイトル、背景などが入ったデータです。

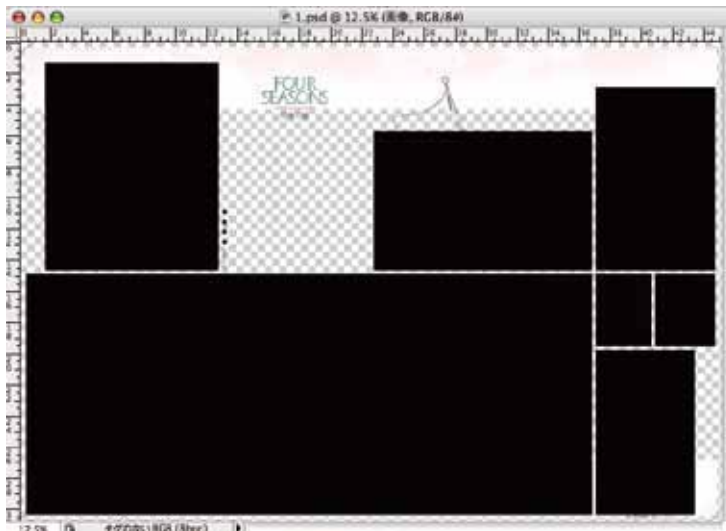
解像度は印刷に適した 350dpi の解像度になっています。

レイヤーも画像・トンボ・文字・背景などに分かれているデータになっています。

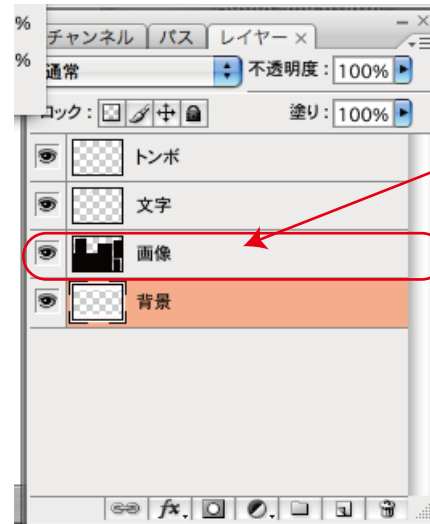
ここでは、そのプレゼンデータを利用した編集方法をご紹介します。

★画像をレイアウトしていきましょう★

1) プレゼンデータを開きます。（スナップページ）



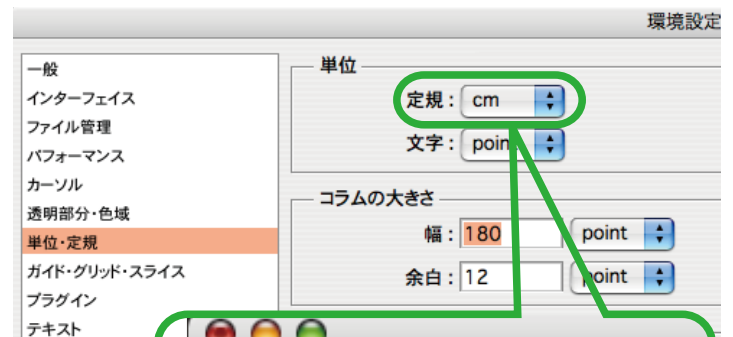
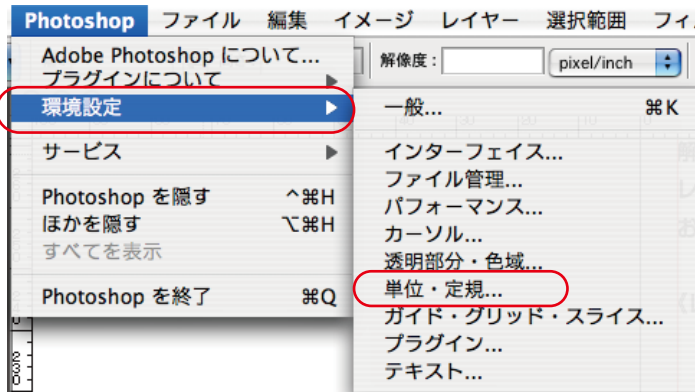
プレゼンデータのレイヤー構成です



画像編集はこのレイヤーを使用していきます

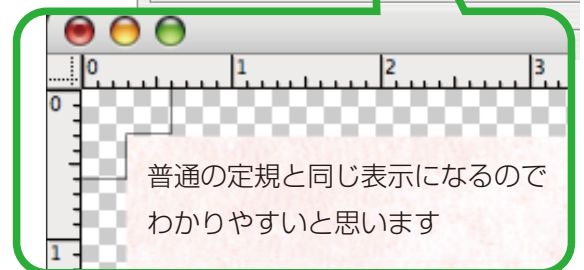
2) ビューから「定規」を選択します。画像の周りに定規が表示されます。

※定規の設定は Photoshop の環境設定で自由に設定できます。使いやすい設定に変更して使用してください。

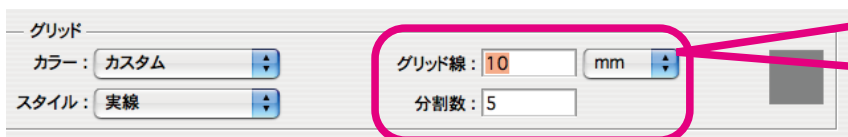


3) 定規の表示ができればガイドやグリッドを使って仕上がりやセンターの位置を表示させておきましょう。出来上がりの予想ができます。

※ガイドは上左の定規が表示されている所から  このツールに変えてからクリックしたまま移動します。水色の線が表示されます。この線がガイドの線になります。



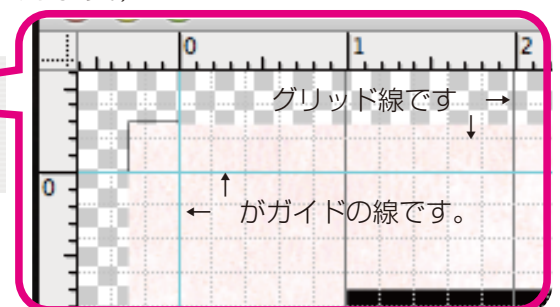
※グリッドは環境設定での数字入力になります。（定規の設定をした場所です。）
環境設定→ガイド・グリッド・スライスを開きます。



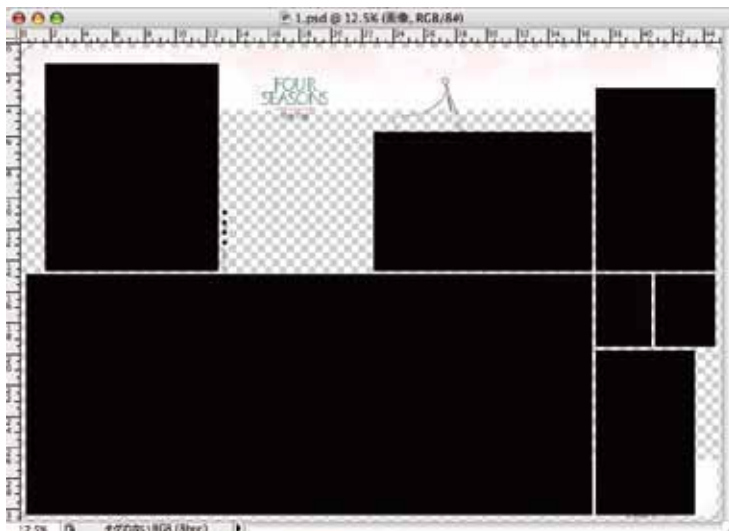
グレー色の太い実線と 2mm 間隔の破線ができました。
（表示のさせ方は「ビュー→表示→グリッド」で表示されます）

グリッドやガイドに吸着させながら配置したい場合は

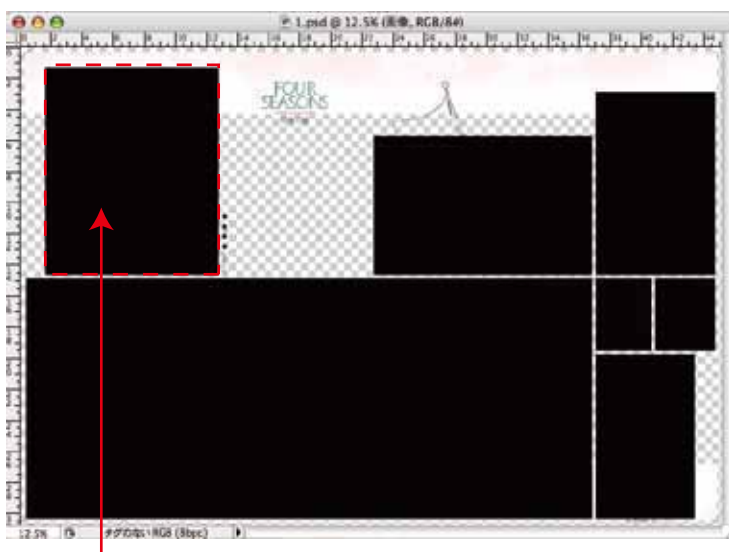
「ビュー→スナップ先→ガイドかグリッド」に設定するとその線にひっぱられるように配置します。



4) レイアウトしたい画像データを開きます。(解像度 350dpi に変更済の保存したデータ)



5) プレゼンデータの「画像レイヤー」を選択し、画像を入れたい矩形の黒い部分を「自動選択ツール」で選択します。



クリックすると選択範囲の破線がでできます。

画像のほうは「選択→全選択→編集→コピー」作業を行います。

6) プレゼンデータに画像データを貼り込みます。「編集→選択範囲内にペースト」をします。

マスクができ画像が貼りこまれました。

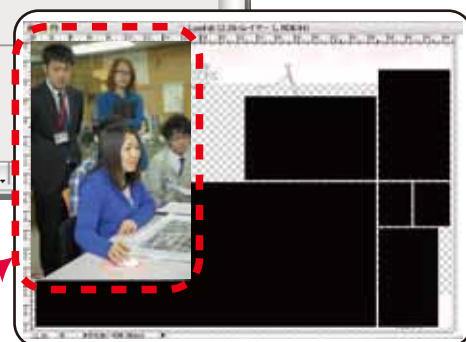


画像を貼り込んだ後のレイヤー



レイヤーマスクというものが作成されます

レイヤーマスクの不使用



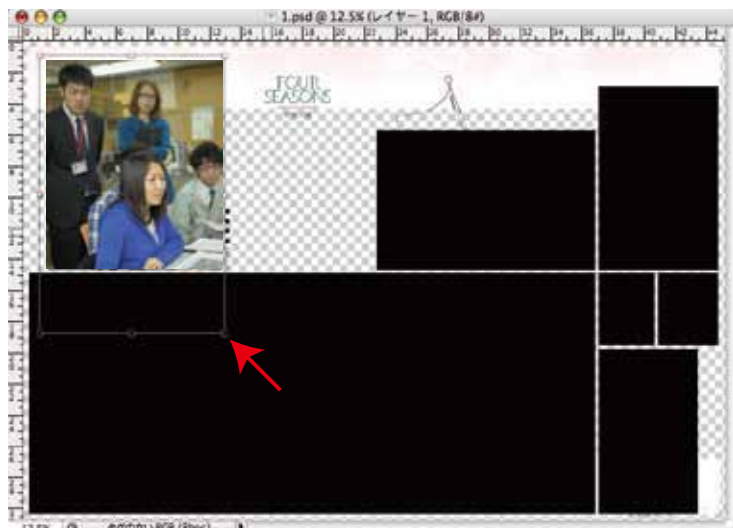
※レイヤーマスクとは…画像を損なうことなく画像表示を自在にかえられる機能です。この機能を使うと元画像を矩形の大きさに合わせて切り抜き作業をしたりする必要がありません。
選択範囲内にペーストしないとレイヤーマスクが作成されていないので、そのまま画像がのっているだけの状態です。

〈Photo レイアウト：スナップ 2〉

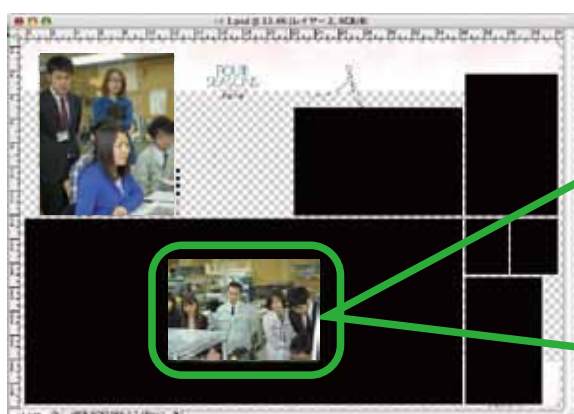
7) 画像のトリミングをしましょう。「編集→変形→拡大縮小」を選択します。

画像の角にボックスが出てきます。角の1つをマウスで触ると↖表示になります。キーボードのshiftキーを押しながら動かすと変倍せずに倍率が変わります。その他は数値入力を行うこともできます。

トリミングが決まったら return キー (enter キー) で確定します。



※拡大率について…画像を選択範囲内にペーストしたとき極端に小さく、変形をかけた時に200%以上の拡大率になる場合は画質が落ちるので使用をなるべくひかえましょう。



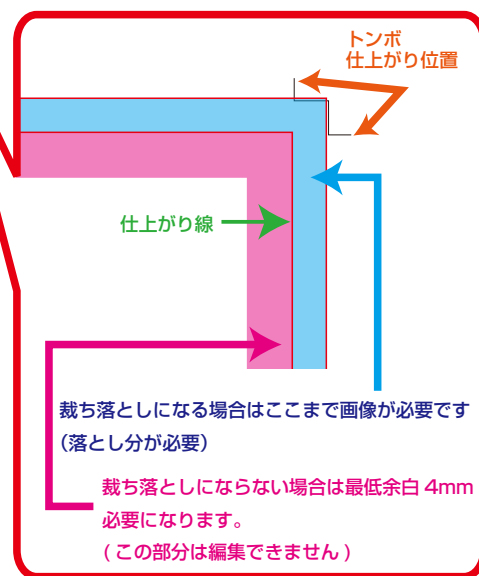
選択範囲内にペーストしたら画像が小さく、変形をかけてみたら300%近い拡大率になり画質が荒くみえます。こんな場合は他の画像に変更するか150%拡大の大きさに矩形を変更するなどの対応が必要になります。



画像の貼り込みは1～7までの作業を行います。(2.3.の設定部分は1度行えば再度設定する必要はありません)

※レイアウトするには以下の事に注意して作業してください。

落とし分がない・余白が4mm以下・センター顔かきり・セパレーションラインのズレや不均等など。

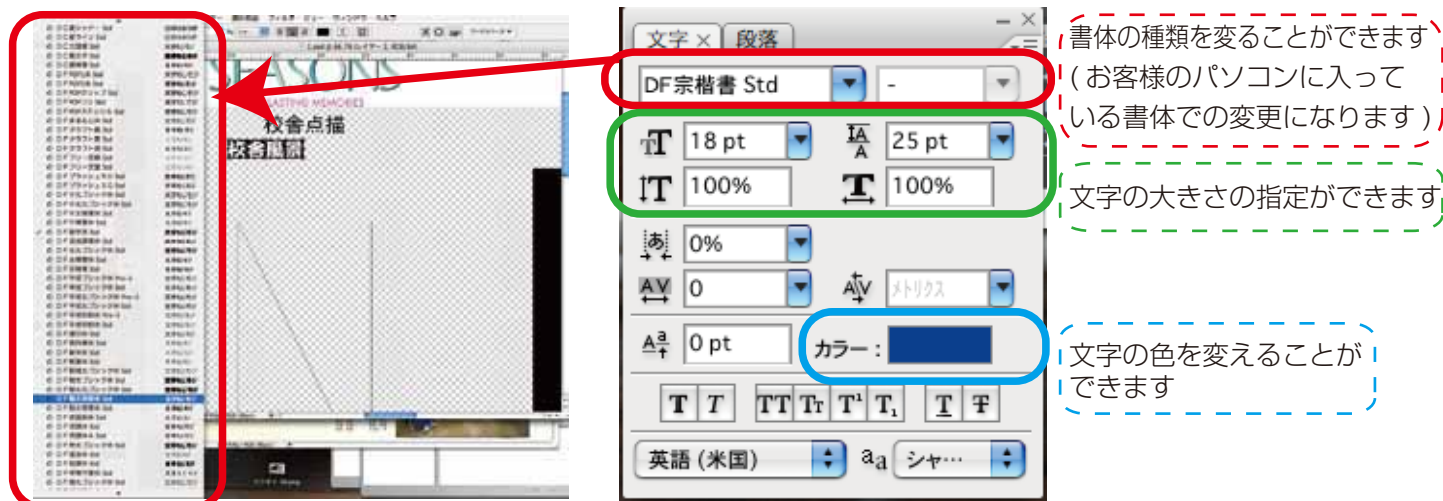


〈Photo レイアウト：スナップ3〉

8) 文字の修正がある場合は「T」のツールを使用します。文字修正のある場所で入力します。

入力後位置を修正してください。

※書体を統一してください。当社書体は「博進堂ゴシック W3」を使用しています。書体を差し上げることはできませんので、似た書体で修正をするか、全てのページを打ち直していただくかのいずれかになります。

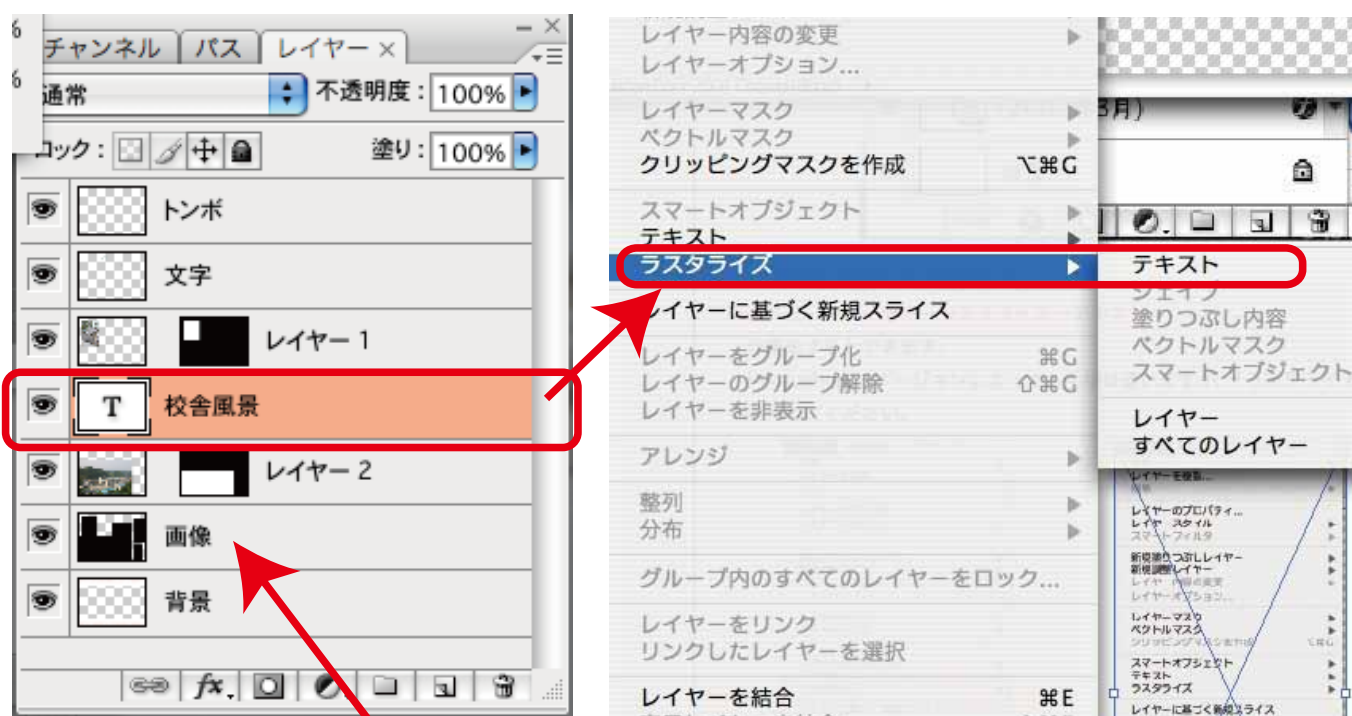


9) 文字の入力をし、確定したら文字のラスタライズを行います。

T のついてるレイヤーを選択し「レイヤー→ラスタライズ→テキスト」にします。

※文字を入力した場合レイヤーに T の文字が残ります。この状態では文字はまだラスタライズされていません。他のパソコンで開くと同じフォント(文字)が無い場合があります。その場合は開いたパソコンが持っているフォントと置き換わってしまう恐れがあります。(違う形の文字になってしまう可能性有る)

それを防ぐためにも文字のラスタライズを行ってください。



10) 不要なレイヤー(ここではプレゼン時の画像レイヤーになります。)を削除します。

11) レイヤーは統合せずに psd 形式で保存します。かなり容量が大きいデータになりますので、メディアへの書き込みは DVD でもかまいません。ただし、きちんとフォルダ分けするか、ファイル名を明確にしてください。

12) 出力紙は A4 サイズでかまいませんので出力をお願いします。(当社でデータをチェックする際、見比べるものが無いと判断に困るためです。)

13) メディアに出来上がった psd データを書き込み、出力紙とともに当社にお送りください。

ご入稿前のデータチェック項目

不備があると印刷ができない項目

 Photoshop  Illustrator  InDesign

※ご使用のソフトでチェック項目が違います。✕がついている場合はチェック不要です

   □台紙サイズが正しいですか(トンボが入っていますか)

   □文字のアウトラインがとられていますか

   □カラープロファイルが埋め込まれていますか

   □印刷時に不要なレイヤー・オブジェクトは残っていませんか

   □画像解像度が350dpiになっていますか

   □カラーモードがCMYKになっていますか

   □リンク画像が全て揃っていますか(※パッケージでリンク画像の不足を防ぎましょう)

   □リンク画像の画像解像度、データサイズに問題はありませんか

   □画像が埋め込みになっていませんか

   □特色が指定されていませんか

   □矩形(マスク)の塗りが透明になっていますか

編集時に見落としやすい項目

□文字のフォントや大きさが統一されていますか

□切れてはいけない写真・文字が仕上がり線から4ミリ内側に配置されていますか

□仕上がり線に接する写真や背景は仕上がり線から2ミリ以上外側に塗り足されていますか

□写真のエッジ(回転での欠け)が出ていませんか

□同じ写真を使用していませんか

□写真と写真の間隔(セパレーション)は揃っていますか

□仕上がり線やセンターに顔や文字がかかっていますか

□ぼかし影や色フチなどの効果が統一されていますか

□学校様、保護者様からのクレームが発生しそうな写真はありますか
(中指を立てた生徒様が写っていたり、下着が見えている写真など)